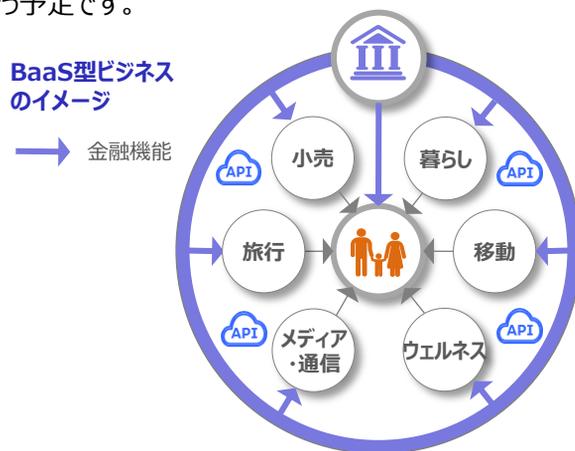


アクセンチュア株式会社との次世代バンキングシステム構築に向けた 包括的提携に関する覚書の締結について ～ デジタル時代に即したシステム開発子会社の設立検討を開始 ～

株式会社福岡フィナンシャルグループ（取締役社長 柴戸 隆成、以下：FFG）は、アクセンチュア株式会社（代表取締役 江川 昌史、以下：アクセンチュア）との間で包括的提携に関する覚書を締結し、デジタル時代に即した次世代バンキングシステム（以下：本システム）の構築に向けた研究開発を行うシステム開発子会社の設立検討を開始します。

今般設立を検討するシステム開発子会社では、フラットでアジャイルな組織とクリエイティブな企業文化を浸透させ、デジタルテクノロジーを積極的に活用することでFFG自らが自己変革する『デジタルトランスフォーメーション』の実現を目指すべく、商品・サービスの企画立案からシステム開発、データの利活用までを一元的に担う役割・機能を集約し、これまでの銀行基幹系システムとは一線を画した新しいシステムの研究開発を行う予定です。

本システムでは、業務上のオペレーションやシステム的な制約により、これまで実現が難しかったものを、『ゼロベース』から設計することで、新しい金融のあるべき姿を追求すると共に、本システムを通じて開発する金融機能・商品等を様々な事業者に対しサービスとして提供する『BaaS（Banking as a Service）型ビジネス』の展開も視野に検討を進めてまいります。



アクセンチュアとの包括的提携に関する覚書の概要

システム開発子会社の設立検討にあたっては、デジタル領域における専門的なノウハウおよび人材の確保が必須となることから、アクセンチュアが持つ金融業界への知見・ノウハウに加え、様々なネットワークを活用すべく、包括的提携に関する覚書を同社と締結致しました。

本包括的提携の主な概要は、アクセンチュアからの最新技術を活用した本システムの構築に関する開発支援および人的支援となります。具体的には、既にFFGにおいて採用されている外部との連携基盤の更なる活用や、デジタルを活用した新サービスの立案から運営に至るまでの一貫した支援体制であるデジタルサービスファクトリーモデル*の提供等を受ける予定です。

* デジタルサービスファクトリーモデルとは：
 デジタルテクノロジーを活用した新たなサービスや顧客体験をスピーディに提供するために、イノベーションを用いてデジタル変革に必要な様々なケイパビリティを集約した“工場”として稼働する組織・機能の運営モデル。

以上

《 本件に関するお問合せ先 》

（株）福岡フィナンシャルグループ デジタル戦略部 （永吉・中原・吉富） TEL 092-723-1999